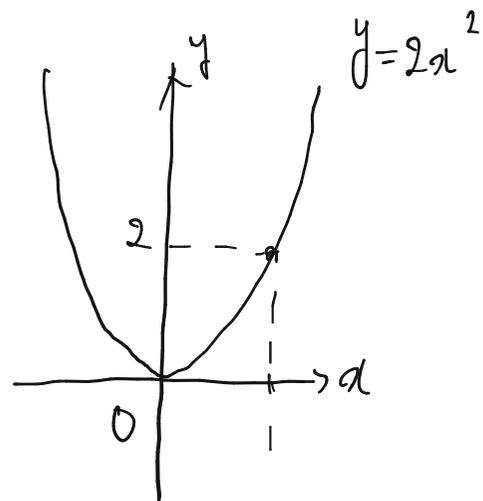


2-2 2次関数の基本とy軸移動

1 次の2次関数のグラフをかけ。また、その放物線は上に凸、下に凸のどちらであるか。

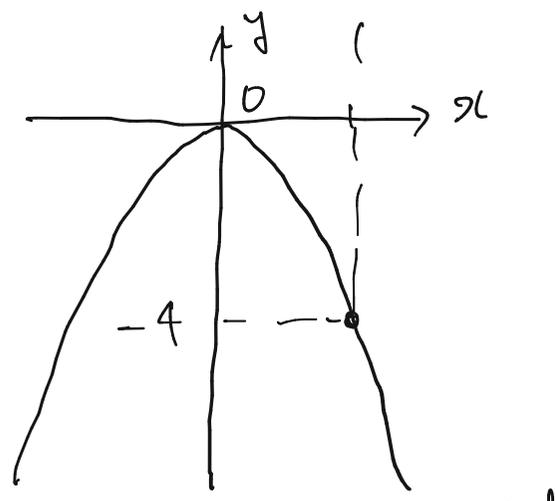
- (1) $y=2x^2$ (2) $y=-4x^2$ (3) $y=\frac{3}{2}x^2$

(1) 下に凸



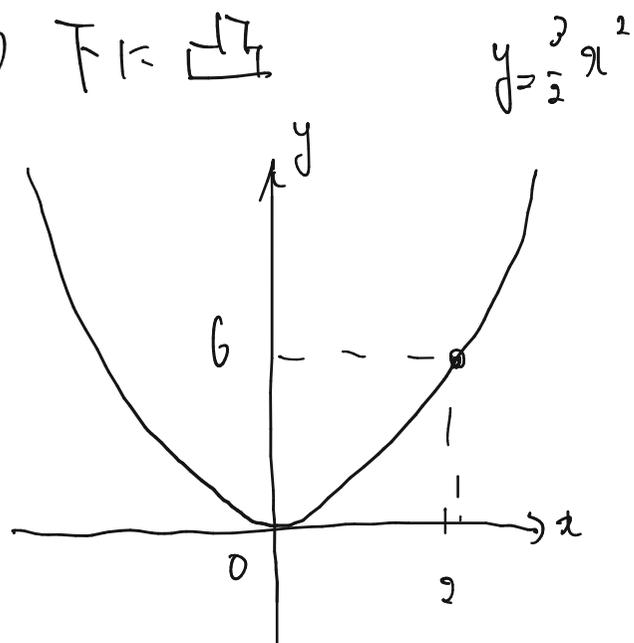
頂点 $(0,0)$ 。
軸：直線 $x=0$

(2) 上に凸



頂点 $(0,0)$ $y=-4x^2$
軸：直線 $x=0$

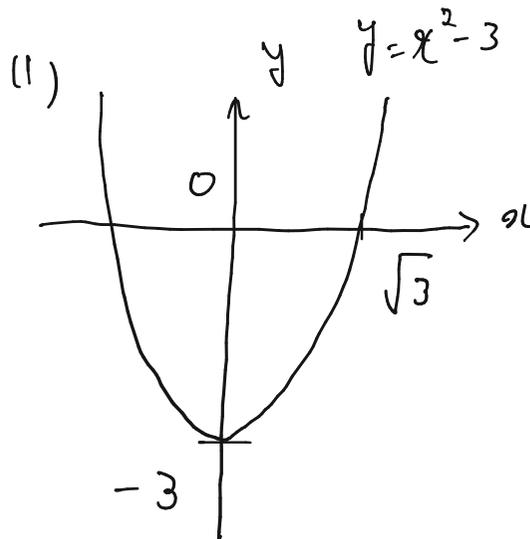
(3) 下に凸



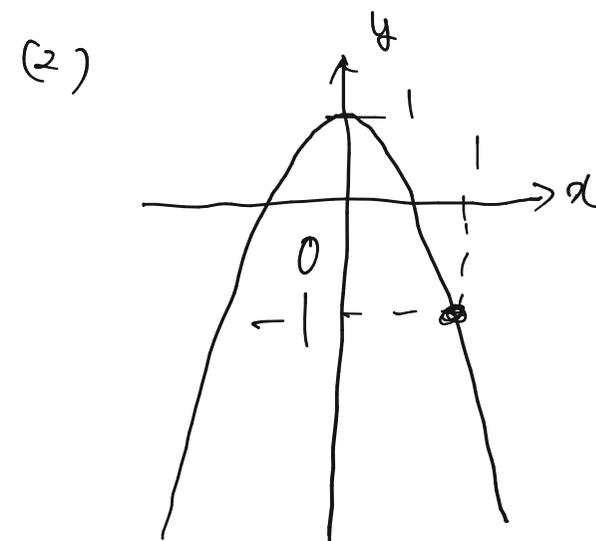
頂点 $(0,0)$
軸：直線 $x=0$

2 次の2次関数のグラフをかけ。また、その軸と頂点を求めよ。

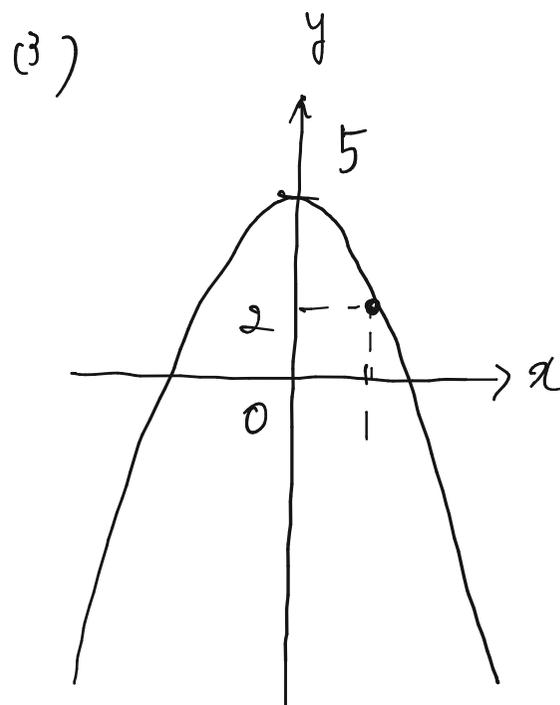
- (1) $y=x^2-3$ (2) $y=-2x^2+1$ (3) $y=-3x^2+5$



頂点 $(0,-3)$
軸：直線 $x=0$



$y=-2x^2+1$
頂点 $(0,1)$ ，軸：直線 $x=0$



頂点 $(0,5)$
軸：直線 $x=0$

$y=-3x^2+5$

図示するときは。

① 頂点 + 他の点

↳ とりやすい座標をとる。

(例) \square のときは、

$(1, \frac{3}{2})$ のときは

$(2, 6)$ のときもとりやすい

② 異なった点

→ 原則としては、

図 \Rightarrow 式

から求められるだけの

情報を入力している = ！！

<今日のふりかえり>